

ココが変わった 肥満症診療の最前線

わが国においては、肥満者のなかから医療の対象となる集団を抽出することを目的として、日本肥満学会が2000年に肥満症の概念を提唱しました。治療対象を体格指数(BMI)のみで定義するのではなく、健康障害の合併および内臓脂肪蓄積に基づいて抽出するというコンセプトは、その当時、国際的にみてもとても先駆的な考えかたでありました。

以降、この概念に沿った肥満症に対する診療指針が日本肥満学会より示されてきましたが、このたび、「肥満症診療ガイドライン2022」が作成されました。

本特集では、「肥満症診療ガイドライン2022」の作成委員の先生方を中心に、肥満症診療から研究の最前線についてわかりやすく解説いただき、診療科の垣根を越えて国内の肥満症診療の重要性がますます浸透していくことを祈念し企画しました。

近年ではCOVID-19においても肥満による重症化リスクを指摘されるなど、様々な疾患のリスク因子として認識されています。日々アップデートされていく情報の最前線として、本特集が日常臨床の一助となれば幸いです。

日本医科大学大学院医学研究科内分泌代謝・腎臓内科学分野
岩部真人